

# 留辺薬支所

住所：〒091-0002 北見市留辺薬町東町84番地1 はあとふるプラザ  
TEL：0157-42-2200 FAX：0157-67-2078

## あたたかい地域づくりを目指して — 温根湯 1-1 自治会 —

自治区内117世帯のうち高齢者世帯が80世帯（120人）を数え、高齢化率は68.3%と北見市の（23%）留辺薬自治区（34.3%）これに比較して、かなり高い温根湯1-1自治会では、高齢社会の現実をしっかりと捉えて、自治会長を中心に「住民だれもが安心して暮らすことができる地域づくり」をスローガンに地域づくりを進めています。自治会には、4つの専門部が設置されており、葬儀部（36名）レクリエーション部（17名）ボランティア部（29名）明るい農村部（10名）に、いずれも自治会員に専門部員として登録してもらい活動しています。

特におもしろいのが、明るい農村部です。自治会を3～5世帯程度に小グループ化して自給自足の野菜づくり、空き地を利用しての花壇づくり、その他日常における小さな地域ささえあい活動を実践しています。

また、自治会だよりを週1回のペースで発行しており、その他のお知らせを含めると週2回程度、回覧板が回っています。この数多く回覧板を回すことには非常に大きな効果があり、近隣とのコミュニケーションを深めることができるほか、独居世帯には、安否確認の効果もあるとのこと。

そのほかにも、高齢者世帯図、災害避難場所を記した「福祉マップの作成」や、高齢者が引きこもりにならないよう生きがいづくりの場として、空家を利用した仮称「アットホーム館」の立ち上げも進められているそうです。

このような役員らの熟慮と実践は、自治会員にも波及効果を生み、結成当初に比べボランティア参加者も増加しているそうです。

自治会が実践する活動に対して、周囲の高齢者の方にお話を伺うと「除雪の心配がいらなくなった」「いざという時には、いつも助けてくれる」と大変感謝している様子でした。



▲地域の環境整備のため、作業を行う  
横田 正純会長と高田 豊副会長

留辺薬支所では、数年前より全自治会に働きかけ地域ささえあい事業を推進しています。全道の先駆的活動実践例のほか地域福祉活動に関する情報を用意していますのでお気軽にご連絡下さい。

## ボランティアさんを募集しています！

～このようなボランティアさんを待っています～

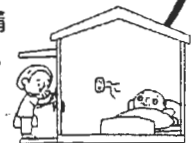
### ■目の不自由な方のお世話役

目の不自由な方の誘導介助をしていただけるボランティア（ボランティア登録していただく際には基本的な学習をしていただく必要があります。）



### ■話し相手ボランティア

いろいろな話を聞いたり話したり相談に感じたりすることで、ボランティアを受ける側の安否の確認、孤独感・不安の解消を、そして、互いに様々な情報の交換ができます。

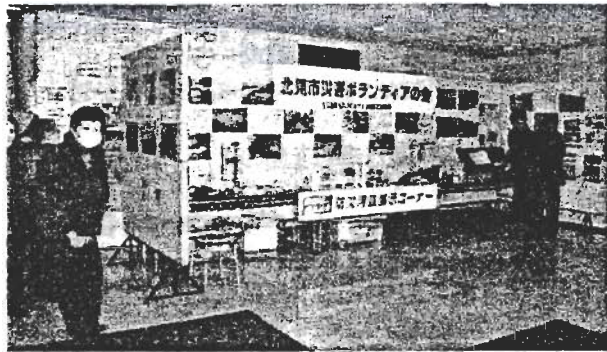


## 過去の災害から危機意識学ぶ

12月8日(土)留辺薬町中央公民館を会場に「第18回ふれあい広場」が開催されました。この「ふれあい広場」では、今回初めて北見市災害ボランティアの会による「災害パネル・グッズ展」が行われ、竜巻・大雨・大雪災害の写真100点及び災害グッズ60点が展示され、多くの市民が興味深く見入っていました。

北見市災害ボランティアの会留辺薬地区長の橋本幸雄さんは、この展示に込めた住民へのメッセージを「もし、避難しなければならない大災害が発生したら、指定されている避難所はどこにあるか。非常用の持ち物や食料は確保されているか。万が一の時に助けを求める方法などを考えているか。“自分の命は自分で守る”という心構えや防災対策を常日頃から考えておくことが大事です」と話されていました。

最近、「災害は忘れないうちにやってくる」と言われています。今一度、災害に備えて、ご家族の皆さんと話合われてはいかがでしょうか。



▲災害パネル・グッズ展の様子

## 世代間交流で、ふれあい深める

12月6日(木)大和ノーマルセンターを会場に、大和地区では今年度3回目の「ふれあい会食のつどい」が開催されました。

今回の会食には、昨年に引き続き温根湯中学校の1年生16名、大和保育所の園児6名が参加しました。子どもたちからの、ひと足早いクリスマスプレゼントとして、中学生は、この日のために練習を重ねてきたハンドベル演奏を、園児達からは、かわいらしいお遊戯が披露され会場を盛り上げました。

最近、世代間の交流の機会が少なくなってきました。世代間の交流は、互いに持っている知識や技能などの継承、発展につながるといわれており、今後もいろいろな場面で、このような機会が増えていくことが期待されています。



「鳩書伝」ホームページ「オホーツク特選街」

http://

# 初の「自治会福祉マップ」作成へ

## 津別町 3団体が独居高齢者の情報など集約

津別町の社会福祉協議会と自治会連合会、民生児童委員協議会の3団体が協力して、独り暮らしのお年寄りの情報などを集約した「自治会福祉マップ」を作成する。当初、それぞれが福祉や防災上の観点から調査などを予定していたが、関連性が高いため、情報の共有を図る。町などは「大勢の人が高齢者の福祉や防災に関心を持つことが、安心なまちづくりの推進につながれば」としている。

社会福祉協議会は19年度、65歳以上の独り暮らしの高齢者を対象に、生活の不安などを把握しようと、福祉委員の調査に基づくマップの作成を計画していた。

一方、自治会連合会も、現在推進している単自治会の自主防災組織設立と併せ、災害時の要支援者の把握の必要性について協議を進めていた。また、民生児童委員協議会も全国で展開されている「災害時1人も見逃さない運動」を受けて、緊急連絡網の整備や関係機関と連携する災害時のニーズ把握

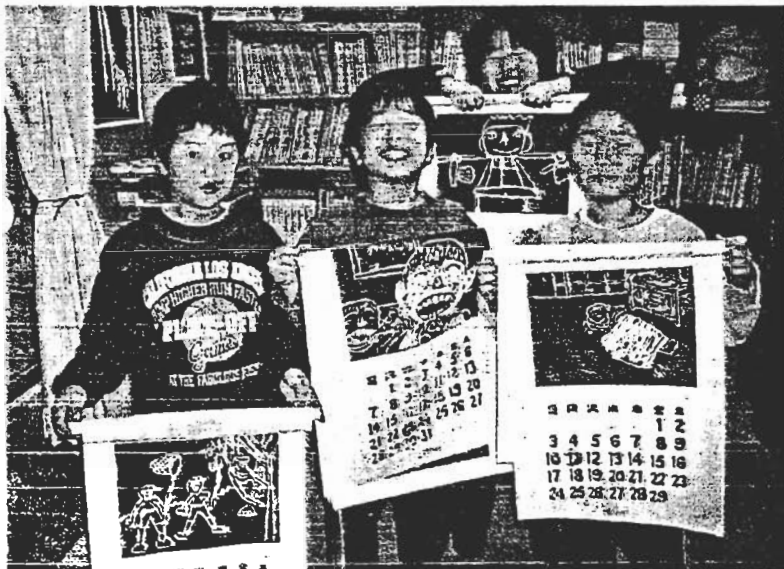
### 機会に持つ心に関心 福祉や防災

握などを計画していた。互いに類似し、関連性が深い分野のため、3団体は、情報を収集し、図面に記すマップづくりまでを協力して行うことにした。調査は、福祉委員、自治会福祉部の会員、民生児童委員が分担し、対象世帯を訪問して行う。早ければ12月にも開始し、20年3月まで

に調査を終え、マップを作成する予定だ。情報を共有した中で、社会福祉協議会が事業、自治会連合会が災害時の避難誘導など、必要な活動に役立てる。

マップは継続的に更新し、改良する予定。町は「3団体が組織的に情報を共有することで、お年寄りのより安心な暮らしにつながれば」と期待している。(備)

### 版画かしんだーできたよ!



北見の小泉学童保育所「たんぽぽ」で

区分	市区町村数	管内世帯数(A)	自主防災組織を有する市区町村数	組織されている地域の世帯数(B)	組織率(B/A)(%)	平常時の任務とされている活動項目別自主防災組織数					災害時の任務とされている活動項目別自主防災組織数						
						防災訓練	防災知識の啓発	防災巡視	三角バケツ消火器等の頒布又は共同購入	その他	災害危険箇所等の巡視	災害危険箇所等の巡視以外の情報収集・伝達	初期消火	負傷者等の救出救護	住民の避難誘導	給食給水	その他
北海道	207	2,545,184	116	1,053,848	41.4%	2,495	2,580	2,443	95	1,916	2,391	2,690	2,351	2,452	2,509	2,378	1,936
青森県	47	554,682	41	143,496	25.9%	369	349	203	66	8	47	220	357	232	307	314	8
岩手県	58	490,322	58	288,887	58.9%	716	750	572	219	216	165	433	624	534	463	603	137
宮城県	45	864,882	45	692,246	80.0%	3,013	2,826	2,496	744	324	1,662	1,846	2,577	2,118	1,929	2,869	18
秋田県	42	412,097	41	240,967	58.5%	2,052	1,935	1,558	878	291	1,422	2,181	2,020	1,344	1,715	1,778	16
山形県	44	389,949	44	216,054	55.4%	2,293	2,157	2,076	816	324	1,705	2,087	2,295	2,082	2,097	2,096	251
福島県	83	722,230	81	560,529	77.6%	1,836	1,970	1,817	284	20	1,754	1,896	2,031	1,809	1,897	1,311	10
茨城県	62	1,051,043	48	579,518	55.1%	2,098	1,952	1,023	659	157	1,201	2,057	2,198	2,082	2,103	1,806	193
栃木県	44	711,184	44	600,624	84.5%	1,110	1,341	841	325	83	185	1,016	2,584	1,082	1,306	1,908	343
群馬県	58	726,738	42	451,604	62.1%	675	973	651	90	216	403	910	1,253	667	888	1,035	214
埼玉県	85	2,695,437	67	1,534,944	56.9%	3,022	2,766	1,480	804	315	1,681	3,019	3,105	3,014	2,956	2,613	159
千葉県	77	2,378,540	57	1,262,805	53.1%	3,938	3,869	2,901	2,655	271	3,168	3,916	4,100	3,919	3,938	3,574	776
東京都	62	5,861,647	54	4,450,383	75.9%	5,876	5,013	3,842	1,169	1,719	3,656	5,655	5,590	5,590	5,298	4,890	2,214
神奈川県	37	3,653,606	37	2,934,142	80.3%	7,122	6,128	2,099	1,402	3,073	6,421	7,129	7,129	7,093	7,093	6,639	4,100
新潟県	51	815,799	26	244,284	29.9%	984	825	500	200	33	440	977	1,040	985	955	993	126
富山県	21	371,606	19	142,772	38.4%	564	531	451	288	159	293	478	635	438	453	273	93
石川県	22	420,319	22	257,511	61.3%	1,014	778	781	140	181	295	530	1,337	577	638	228	2
福井県	28	262,207	28	146,653	55.9%	1,744	1,291	1,253	39	299	705	1,376	1,835	1,225	1,272	861	183
山梨県	38	321,970	38	309,848	96.2%	2,560	1,589	908	503	242	1,661	2,549	2,522	2,377	2,559	1,663	303
長野県	102	782,899	73	576,799	73.7%	2,751	1,852	1,403	962	48	1,531	2,467	2,792	2,653	2,587	1,549	232
岐阜県	47	709,304	47	587,862	82.9%	3,623	2,385	1,468	507	1,011	1,849	3,796	4,233	3,713	3,925	3,099	1,222
静岡県	57	1,362,930	57	1,342,305	98.5%	5,116	5,082	3,274	1,640	318	4,179	5,116	4,962	4,888	4,951	3,464	706
愛知県	74	2,677,488	73	2,619,205	97.8%	9,791	9,344	2,661	6,763	1,889	2,849	9,052	9,432	9,294	9,407	9,149	7,005
三重県	47	680,837	47	594,195	87.3%	2,969	2,448	1,885	640	214	1,567	2,304	2,840	2,786	2,648	1,736	183
滋賀県	33	468,225	32	288,421	61.6%	1,567	986	1,105	432	174	770	1,101	1,271	1,271	1,353	864	125
京都府	38	1,059,925	33	898,261	84.7%	1,010	659	557	322	178	622	689	985	486	492	492	357
大阪府	43	3,691,611	39	2,392,672	64.8%	1,315	1,327	595	512	238	655	1,317	1,363	1,319	1,310	1,220	197
兵庫県	60	2,210,725	60	2,094,472	94.7%	5,331	4,941	3,944	1,205	632	3,876	5,496	5,704	4,991	5,260	3,609	248
奈良県	44	529,866	25	129,546	24.4%	299	194	284	160	10	225	213	346	281	259	200	0
和歌山県	47	413,636	39	286,396	69.2%	663	599	158	171	87	182	615	794	610	645	552	46
鳥取県	20	218,520	20	136,048	62.3%	1,829	1,351	1,252	692	135	1,330	1,201	1,767	1,068	1,203	912	52
島根県	29	268,392	24	72,390	27.0%	265	299	275	158	264	291	304	318	226	299	263	83
岡山県	34	738,972	33	322,378	43.6%	1,380	1,151	693	352	122	394	921	1,646	587	948	1,282	34
広島県	29	1,171,748	25	721,318	61.6%	2,205	2,189	2,168	183	1,947	2,092	2,185	2,211	2,156	2,190	2,115	1,898
山口県	33	624,250	33	324,047	51.9%	1,504	1,580	630	184	112	559	2,040	1,725	1,130	1,273	994	9
徳島県	35	307,039	35	167,770	54.6%	628	493	422	428	47	53	531	659	514	520	413	40
香川県	35	393,116	35	219,923	55.9%	996	1,307	838	141	408	530	1,299	1,737	957	920	1,512	445
愛媛県	23	607,968	17	204,984	33.7%	671	670	550	329	437	280	524	685	530	521	662	33
高知県	48	343,143	45	117,423	34.2%	685	616	456	151	113	398	576	692	552	684	459	32
福岡県	85	2,044,970	28	854,555	41.8%	3,231	3,168	3,117	50	40	3,200	3,208	3,248	3,183	3,191	3,161	35
佐賀県	35	296,456	12	22,164	7.5%	26	54	14	19	3	31	50	32	32	32	55	1
長崎県	45	594,045	42	191,332	32.2%	1,329	1,250	781	155	139	460	1,334	1,386	1,136	1,229	997	100
熊本県	68	696,391	48	178,764	25.7%	698	581	524	213	53	366	718	633	523	692	401	14
大分県	25	484,636	25	356,950	73.7%	2,587	2,841	1,608	841	0	1,661	2,821	2,894	2,205	2,541	1,993	0
宮崎県	44	479,372	44	295,219	61.6%	1,110	985	1,031	377	64	1,451	1,500	1,927	1,334	1,494	856	0
鹿児島県	78	764,233	77	362,062	47.4%	1,928	1,802	1,244	398	265	1,701	2,116	1,926	1,477	1,884	1,478	210
沖縄県	49	511,942	12	29,002	5.7%	37	15	32	0	0	64	3	84	33	82	32	0
全 国	2,418	50,382,081	1,988	32,497,578	64.5%	99,025	89,592	60,664	29,361	18,795	62,421	94,462	104,331	89,592	92,916	81,351	24,389

(注) 組織率は、組織されている地域の世帯数を管内の世帯数で除したものである。

しあわせの情報

# 経済の伝書鳩

日本ABC協会加盟紙  
 発行所 株式会社伝書鳩  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 電話 03-5261-2400  
 編集部 FAX 03-5261-2438  
 編集部 FAX 03-5261-2438

本誌は北見市幸町2丁目、フチサワビル内(0157-2314362)に  
 編集支店/網走市大曲1丁目13-8 電話 0152-61-2400  
 北見 FAX 0157-2314308・網走 FAX 0152-61-2438

## 町内会にも忍び寄る高齢化の影響

北見市と市自治会連絡協議会は、全町内会を対象に行った町内会活動アンケート調査の結果をまとめた。多くの町内会が役員のみならず手不足や高齢化の課題を抱えていることが分かった。少子高齢化を背景に高齢者・福祉関連事業や子ども会との交流を望む町内会が多い。市が進める新しい住民組織については「必要ない」「分からない」が6割近くに上り、意識啓発が市の課題として浮き彫りになった。

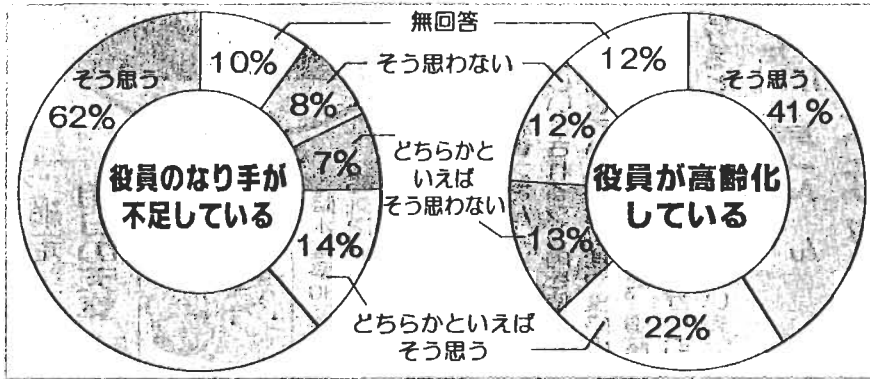
### 北見市と市自治会連絡協議会アンケート結果まとめ

いる町内会が半数以上 慣例化している「40%」を占めているため。「参加者が少ない」「31%」などがある。

調査は8月に4自治区809町内会の会長を対象に実施。回答数は515(64%)だった。町内会活動の課題について「役員のみ手不足しているか」との質問に「そう思う」と回答したのは62%、「役員が高齢化している」と回答したのは41%。どちらかといえば高齢化しているの22%と合わせると63%に達する。

会長の年齢構成をみると、60歳代が38%、70歳代が28%、80歳以上の3%と合わせると69%が60歳以上となっている。会長の経験年数は1年未満が45%、63%が3年未満だった。これは、役員選出方法に輪番制を取り入れて

### 6割以上が役員のみ手不足や高齢化の課題抱える市が進める新しい住民組織への関心希薄



このうち「作る予定がない」としている町内会が58%に上った。自主的な防災組織が編成されている町内会は3%しかなく、食糧や飲料水の備蓄を促す活動も8%にとどまっている。

新しい住民組織とは、小学校区をエリアに町内会だけでなく様々な団体が連携するコミュニティ自治区。アンケートでは「必要」と答えた町内会が32%あったものの「必要ない」が18%、「わからない」が39%を占めている。新しい住民組織を作るうえで、町内会長が「行政のすべきこと」として求めた項目のベスト3は「地域住民への意識啓発」「運営資金などの財政的支援」「行政内部の支援体制」だった。

# 教訓 地域で生かす



防災マップについて説明する嵐会長

## 北見ガス漏れ事故1年

三人が死亡、十一人が負傷した北見市のガス漏れ事故の判明から十九日で一年。その後も市内でガス漏れが相次いで発生し、そのたびに住民たちは身近に潜む危険に脅かされ

た。「行政に頼るだけでは、自分たちの命を守れない」。惨事をきっかけに住民たちの危機意識は高まり、非常事態に備える活動は広がりをみせている。

(貝沢貴子、平岡伸志)

## マップ、防犯部で自衛 市内の町内会

「青は健康な人。赤は合でも地域の状況を一目で把握できる」と話す。マップは昨年六月に北見で見起きた大規模断水の際も活躍。同町内会は断水直後から災害対策本部をつくり、独り暮らしのお年寄りらに給水支援も行った。嵐会長は「災害時には行政の支援が遅れることもある。自分たちで協力し合い、対応することが大切」と助け合いの重要性を強調する。

が増加しており、いざというときの体制を確立したい。自主防災組織がなかった」と話す。今後、設立の動きは市内でも具体的な活動内容を決める予定で、中村会長は「防り組んでいきたい」と意気込んで、高齢者が

地図は、高齢者や障害者ら緊急時に支援が必要の人々をはじめ、消防士や看護師といった医療・福祉関係者らの所在を十種類のマークで記載。家族構成や電話番号なども添えた。嵐会長は「外部から災害支援が来た場

「町内会は今月、町内会に「自主防犯部」を設置した。中村嘉孝会長(右)は「町内会員の中に高齢者